平成5年度 施政方針

二十一世紀へ 着実なまちづくり

三月三日から開催されている市議会三月定例会で、市長が施政方針を示しました。

施政方針は新年度の市政運営の基本的な方針と主要な事業について明らかにするものです。その中から、主なものを紹介します。

▲4月7日開校の光晴中学校

基本的な考え方

平成四年はまさしく激動の年でありました。世界は新しい秩序を求めて揺れ動いていますが、いまだ確かなものは見えてきません。国政においては政治の刷新は進まず、国民の政治への不信はかってなく高まっております。そしてバブル経済崩壊後の不況は長引き、国民生活にいよいよもって深刻な影響を及ぼしています。県政の方針においても、あらためて環日本海政策の積極的推進が掲げられ、多くの県単独事業が盛り込まれています。わが市もこの時代的要請とも言われるべき地方の役割をしっかり認識して、政策をつくっていきたいと思います。

第三次総合計画は時代の要請、市民の変化する要望によって、レベルを上げ、より充実した、より魅力のあるものとして補わなければならなくなりました。その試みとして八大プロジェクトを付加して、後期計画を補っていくつもりであります。平成五年度の一般会計当初予算は一二八億一千万円、九・四パーセントの伸びと積極的な予算となりましたが、これはプロジェクトを引き続き前進させるためのものです。わが市は引き続き山積する問題の解決に追われておりますが、それにもかかわらず二十一世紀の新しい時代がゆとりのある安心して暮らせる豊かな時代となるよう、しっかり準備していかなければなりません。その高い目標は、行政サービスの提供のみでは達成されません。市民の高い意識と自覚、そして、市民自らの参加があって実現するものです。特にこれから、地方自治体のサービスの中心は保健、医療、福祉となります。そのためには、市民の高い意識と自覚に支えられた市民自身が参加してつくりあげるサービス体系を構築していかなければなりません。今からいろいろな分野で、その様な考え方を徹底していきたいと考えています。

主要な事業

秩序あるまちづくり

都市計画道路につきましては、豊栄東港線、葛塚環状線の事業を継続することとし、豊栄駅木崎線の調査設計に着手いたします。環境整備事業は、新たに葛塚競馬場線、（仮称）競馬場濁川線の調査設計に着手いたします。新潟地域大外環状道路の主要地方道への昇格について国・県の関係機関に対してさらに陳情を行います。豊栄駅北部地区及び長歩（上土地亀）地区の土地区画整理事業は、平成七年度から八年度の事業完了を目指し本格的造成工事が開始されます。豊栄駅周辺公園化事業は、原則的にまちづくり特別対策事業とし、四か年継続事業で実施いたしますが、平成五年度はガード改良工事実施設計に必要な予算を計上するとともに取付道路、公園の用地買収に着手する予定であります。ガードの本格的工事は平成六年度から七年度となる見込みであります。通産省と（財）東北産業活性化センターの支援を受けて、平成四年度に「新潟東港背後地域振興計画」を策定したところでありますが、その調査結果が今月半ばころに報告される予定であります。平成五年度は新潟東港隣接地に範囲を絞り、物流加工の開発構想及び開発と集落とのかかわり方等を中心にした調査要望書を提出しております。大阿賀橋整備につきましては、建設促進に積極的に取り組んでまいる所存であります。

期待が高まる福祉サービス（ディサービスセンター）

豊かな生活を支える産業振興

水田農業確立対策が水田営農活性化対策と名称を替え新たにスタートいたします。平成五年は従来の転作目標面積の配分はせず、耕作面積に応じて金額を負担していただく方法で、目標の百パーセントを達成しようとするものであります。このため市単独の補助金として六千万円を計上いたしました。中小企業振興資金等の予算を増額しました。尾山工業団地の造成事業については、平成五年秋ごろの完成を目指しております。企業誘致につきましては、平成五年度に全体面積の概ね二十五～四十パーセント程度を分譲目標として考えております。

住みよい清潔な環境をつくる

リーディング・プロジェクト「福島潟自然生態園整備事業」の実施設計に着手いたします。流域下水道事業は、平成九年度の一部供用開始に向けて、幹線管渠と処理場施設の整備を県及び関係市町村で進めていきます。公共下水道事業は、平成五年度から流域下水道計画と整合性を図りながら幹線管渠工事に着手いたします。また、公共下水道事業受益者負担のあり方等について下水道審議会に諮問いたします。地域汚水処理事業の特別会計移行に伴いまして、受益者負担の原則により料金改正を実施する予定ですが、急激な料金値上げを回避したい考えです。第二種市営住宅の建替については、新規事業として着手いたしますが、平成五年度は用地買収が主な内容になり、平成七年ころまでに建替を完了する計画です。

生活の安全を確保

消防自動車を購入するほか、防火水槽、防火井戸、消火栓を継続して整備いたします。交通安全確保のため、ガードレール、カーブミラーを交通安全対策特別交付金に市の財源を上乗せして整備いたします。

福祉と健康を増進

特別養護老人ホームは、平成七年度建設の基本的考えにより、建設地の用地買収を行います。場所につきましては、豊栄病院に近いところということで検討しています。保育所の統廃合については、平成六年度にかやま保育園を廃止し、若葉保育園に統合します。そのため関係者の理解を得るなどの準備を、行うこととといたします。

教育と芸術文化の振興

光晴中学校が四月に開校し、屋内運動場は八月中に完成いたします。第二回目の葛塚南線野外彫刻祭を実施する予定です。生涯学習につきましては、市民の意見を反映させるため生涯学習推進本部と生涯学習推進会議を設置し実施計画を策定する予定になっています。美術品等の収集、弦巻松蔭作品の調査、企画展、市史編さん等の事業を推進し、市民の文化づくりの一助にしたいと考えております。

行財政の合理化

下水道事業を計画的かつ効果的に遂行するため、独立した下水道課を設置することといたしました。出張所は、平成五年度はコミュニティセンターとして衣替えします。そのため「コミュニティセンター運営協議会」を各地区に設置します。機構改革を行い効率的な処理体制を整えるため、鉄骨造り三階建ての庁舎分館を建設します。

▲コミュニティセンターに衣替えの連絡所（岡方連絡所）